



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S
The Y's Men's Club of Kanazawa
CHARTERED JULY 9, 1947
c/o KANAZAWA YMCA 44-1-202 SATOMI-CHO KANAZAWA 920-0998

国際会長主題	「とにかくやろうー成せば成る」	“Audere est Facere—To dare is to do”
アジア地域会長主題	「とにかくやろうー成せば成る」	“Audere est Facere—To dare is to do”
西日本区理事主題	「ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献」	“Contribute to the Community through Active Services with Love”
中部部長主題	「先ず一步 楽しもう、学ぼう、働こう、そしてつなげよう」	
金沢クラブ会長主題	「One for All, All for One with Y's Spirits」	

2012 5 月間強調 YMCAサービス・ASF

今月の聖句		5月強調月間	
イエスは言われた。「娘よ、あなたの信仰があなたを救った。安心して行きなさい。」		クラブの例会や奉仕活動に積極的に参画し、ワイズ仲間の友情とチームワークを育み、クラブの活性化と会員相互の研鑽を目指そう！	
ルカによる福音書 8章48節		浅岡徹夫理事（近江八幡クラブ）	
5月例会プログラム		5月クラブ活動状況	
とき	2012年5月17日(Thu.) 18:30~20:30	第1例会 (4月19日 Thu.)	
ところ	金沢ニューグランドホテル	メン：伊藤、影山、数澤、高口、幸正、澁谷、西尾、山内、山本 (9名)	
会費	¥3,000(会員不要) ¥2,000 (メネット)	出席率：90 %	
		メネット：伊藤、数澤、高口、澁谷、山内、山本 (6名)	
開会・点鐘	司会 高口 昇君	コメント：西尾和晴君	
主 題	幸正一誠会長	ゲスト：野脇格氏	
ワイズ・ソング	司 会 者	第2例会 (4月1日 Sun.)	
今月の聖句	一 同	メン：伊藤、数澤、幸正、澁谷、山内 (5名)	
ハッピー・バースデー	司 会 者	メネット：数澤、山内 (2名)	
ゲスト紹介	幸正一誠会長		
	数澤輝夫君		
~~~~~ 会 食 ~~~~~			
スピーチ	「台湾事情」	<b>ニコニコタイム</b> 10, 100円	
	村田 静雄氏	クラブファンド 累計 120, 100円	
委員会報告	各 委 員	<b>BFポイント</b>	
ニコニコタイム	影山雅一君	切手 0 kg 累計 0 kg	
YMCAの歌	一 同	現金 0円 累計 15,000円	
閉会・点鐘	幸正一誠会長		
会 長 幸正一誠	書記 山内健司	第一例会：毎月第三木曜日 18:30~20:30	
副会長 澁谷洋太郎	会計 高口 昇	金沢ニューグランドホテル Tel (076)233-1311	
直前会長 数澤輝夫	メネット会長 数澤淑子	第二例会：毎月1日 18:30~20:00	
		金沢ニューグランドホテル 2F (トレド)	

## 頭寒足熱(パートⅠ)

伊藤 仁信

私達の先達は、大変良い諺を残してくれました。沢山あるなかの一つに「頭寒足熱」と言う諺があります。身体的なことを言い表した諺の一つです。何にでも応用出来る大変便利な四文字熟語で私の好きな諺の一つです。今回はこの諺の上半分と言うか最初の半分の「頭寒」を私なりに独断と偏見で身の周りや、強いては日本全体の現状と将来を独断と偏見で少し分析して見たいと思います。

私事で申し訳ありませんが4月初め何年ぶりかで風邪を引きました。いつものことと軽く思っていたが喉から気管支の奥まで焼けるように痛みだし、咳は止まらず大変苦痛に悩まされ、食欲もないので我慢出来ず病院に行くことにした。風邪で病院に行くのは10数年ぶりである。予約なしで病院に行ったが順番がかなり先のようなので、受付で相談したら、以前他の科に雇った事があるなら比較的早く診てもらえるかもしれないと教えられた。

私は花粉症なので毎年耳鼻咽喉科に行っていたので事情を話したら早く診てもらうことが出来た。喉も痛かったので喉の薬と風邪の薬をもらい帰宅しようとしたら「熱はまだないようだが、どうも肺炎になるかもしれない。抗生物質の薬も出しておきます。頭を冷やし直ぐ寝なさい」と言われ女房の運転で早々に帰宅した。「」内の言葉があとで述べる大事なポイントになった。その夜、身体全体が苦しくなり熱を測ったら少し上昇していた。そのうち、ものすごい悪寒と震えがし身体を丸めて喘いでいたら、今度は暑くなりだし熱を測ったら40℃近くあったので吃驚した。水枕に水を入れ頭を冷やしたり額にぬれタオルを置いたりした。しかし次は、身体にシャワーを浴びたように汗が出て、着替えを用意するやら大変だった。病気は短時間に次々と手を替え足を替えて攻めてくる。まるで現在の時世の流れと同じようだった。そのうち痛みや胃もすっきりし何よりも平熱に下がったのには驚いた。その晩は多少咳が出たが、今までの疲れもあったので熟睡した。勿論一人で処理できるはずがなく女房に大変迷惑をかけた。その後2～3日して薬も無くなったので、病院に行き先生に上述の症状とお礼を言ったら、「あのままだったら間違いなく肺炎になっていた」と言われ、吃驚するやら安心するやら感謝しながら名医の一人だと勝手に女房と話しながら病院を後にしました。

長々と、「たかが風邪されど風邪」を述べましたが、

「頭を冷やす」と言う事は単に水や氷を頭に当てることだけではなく、頭の内面（考え方、心の中）にある理性・冷静さを引き出す力をも含んでいるように思う。一時の感情或いは思いつきで物事を判断すると大抵後から後悔する。後悔は後からするもので完全復元は不可能である。ほんの少しで良いから一呼吸置くと前述のように第三者的な判断が出来るのではないかと思う。耳鼻咽喉科の先生のように帰り際に「頭寒」が働き、私にとって大変ありがたい大事な診断をする事が出来たのではないかと思われる。これを私の多少の経験で得た知識を基に、独断と偏見でもう少し分析して考えてみたい。前例に習うのが日本人の特長のように思われていますが、世の中は従来にない早さで物事が進んでいるので「一呼吸」している間に相手のペースに嵌らないとも限らない。だから時流に乗るには即決しなければなりません。この二率相反する事を解決するには常日頃からの修業（修練・訓練・鍛錬など）が大切です。そうすると比較的相手のペースに巻き込まれず、しかも副産物として自分の主張もはっきり言うことが出来る。日本人は民族性かどうかわかりませんが、なかなか自分の主張をしないで玉虫色で表現する。この様な考え方は一昔も二昔も前の考え方で、これでは世界の流れから取り残され生き残れるか些か心配である。私も含めて私達の身の回りでも同じような現象がまだまだ残っているように思う。昨年の大震災の対処の仕方も懸命にしているようですが歯痒く思う部分が目に付きます。そう言う私自身いつまでも若いつもりであり「昔」と言う虫に取り憑かれ若い人達を育成する事や否自分自身の改革をも忘れておりました。手足が動かなくなっているのに気付かず、もっと早く病院にいったいれば早く治ったかもしれないとつくづく反省しております。

終わりに、このように私達は大小様々な試練に遭っており何とかしようと藻掻いております。人間の力だけではどうにもなりません。人間は弱い者です。しかし、バイブルにある通りこれに耐えられるよう逃れる道をも神は備えて下さっております。これを心の糧にして命の続く限り前に進んで行きたいと思っております。なお、大分縮小したので脈絡が途中で切れたり意味不明な点があるかと思えます。どうぞ文章の前後から読み取って下さい。諺の後半の「足熱」は機会があれば「パートⅠ」の続編として「パートⅡ」で述べさせていただきます。

## 村田静夫氏 プロフィール

1936（昭和 11）年 6 月 18 日 金沢市生まれ。  
金沢市立野田中学校卒  
石川県立金沢県丘高等学校卒  
1959（昭和 34）年 金沢大学経済学部卒  
同年 株式会社村田製作所 本社入社  
関東地区・関西地区・北陸地区の各事業所、  
海外ではアジア地区で通算 43 年間勤務。  
村田製作所台湾社長を経て、2002（平成 14）  
年 退職。

### 【4 月例会報告】

4 月の例会では、金沢市民劇場の創設者で、演劇とモダンバレエに造詣深く、高校助手、市役所勤務を退職後金沢芸術村総合サブディレクター、金沢蓄音機館副館長、地区連合会長、社会福祉協議会等の役員など活躍中の野脇格氏が「不真面目の勧め」と題して講演をされました。



#### 《講演要旨》

戦後の日本を発展させたのは真面目人間である。明治維新の前期は、社会秩序がひっくりかえったため、勝海舟、坂本竜馬、西郷隆盛のような若くてバイタリティにあふれた本物のリーダーが多数出現し新しい国家を築いた。戦後の日本経済の繁栄を支え推進してきたのは真面目な人たちであった。

しかし、バブルの崩壊、大手企業、商社、銀行、証券、保険会社などがおかしくなり、企業の倒産、リストラ、失業者の増大が社会問題となった。真面目人間が築いてきた価値体系が突然崩れたのである。1990年代に入って、タモリ、さんま、文珍などが人気を集めた。彼らは不真面目だが頭はいい。真面目人間には答えは一つしかないが、不真面目さ、いい加減さ、あいまいさは、世の中を複眼的に見ることができる。ヒット商品の 99%は「不真面目」や「遊び・面白さ」から生まれる。

これからの時代は脱常識、脱慣習、脱物真似、脱固

定観念が当たり前。規則とマニュアルは絶対的なものではなく、利用者からの目線、消費者からの目線で考えていくことが必要。実はこの方が厳しいのである。

優秀な社員は、上下左右の人間に気を配る。争いを好まない。波風を立てない、上司・会社へ忠実、リスクを嫌う、常に安全な場所に身を置く。

不良な社員は、協調性がない、争うことが好き、波風を立てる、上司・会社の批判を平気で言い、リスクは当たり前、忠実ではない、大問題が起きてもあわてない。不良社員は時代が何を求めているかを敏感に嗅ぎ取るセンスと、直観的にひらめくセンスを持ち、画期的な製品を開発する場合には従来にないものを創造することができる。

現代人は残業で働きすぎ、夜遅くまでパソコンのしすぎ、人間関係で悩みすぎなど現代人の万病の元はストレスである。

病気になる人はいない人は

- ・泣いて悲しみを吹き飛ばせる人
- ・ストレスを感じても持続せず、その場で受け流す
- ・心をおおらかにして人生を楽しむ人

である。また、ボケずに健康でいられる秘訣は

- ・70 歳まで無理せず働く
- ・笑みを絶やさない
- ・毎日歩く
- ・いつまでも若者気分
- ・寝たきりにならない

ことである。使わない機能は急速に衰えるもので、特に衰えやすいのは「意欲」「やる気」「気力」など「感情の老化」こそ老化現象である。

脳の委縮は前頭葉の委縮。「ときめき」「恋愛」で前頭葉の委縮を遅らせることができる。

以上  
実例を挙げながら、わかりやすく話され、元来不真面目であることで引け目を感じていた者にとっては、いささか鼻が高くなったのでは・・・？

（文責 山内健司）

### 根の上キャンプ場とかたくり草

根の上キャンプ場は名古屋 YMCA が所有している二つあるキャンプ場（日和田キャンプ場、根の上キャンプ場）の一つです。

中津川市と恵那市にまたがり、保古の湖と根の上湖を有する標高 900m の観光キャンプ地です。若いころ休みになるとスケート靴を背に 1 時間以上かけて中津川から上ってスケートを楽しみに来たものです。当時天然凍結の南端の湖だったのです。

4 年ほど前に、猛獣さんと潤さんから連絡があり中



津川市からの賃貸費が高く負担しきれないので市の市議に知り合いがないのか、頼めないのかということです。丁度、副議長に会社の後輩がおりましたので40年ぶりに連絡をして3人でお会いして軽減の糸口がつかめました(根の上高原観光協会の会長をしていたのも幸いして)。そんなこともあり、伊藤、幸正さんにキャンプ場を見せたくて根の上キャンプ場祭りに参加したのです。キャンプ場の感想はご兩人からあると思います。

新発見！ 東海クラブの野村メネットから私が大事にして管理している、「かたくり草」はなにがあると教えられキャンプ場の一角に「可憐な花を見つけました」30株以上の群生でここで「かたくり」の花にお目にかかれるとは。金沢にある「かたくりの里」にはおよびませんが、ここは岐阜県でもあり「岐阜ちょう」を連想しました。じっと待てば岐阜ちょうが飛来するのではと思いました。

根の上キャンプ場はこの「かたくり草」をキーにさらに印象の強いものとなりました。

(澁谷 洋太郎 記)

## ~~~~~ お知らせ ~~~~~

### ☆京都パレスクラブ(40+1)周年記念例会

4月22日(日)、京都ホテルオークラで行われ、伊藤、数澤、幸正の各メンが出席しました。

### ☆滋賀蒲生野・金沢合同例会

日 時 5月3日 19:00~5月4日 12:00頃

場 所 ホテル ニューオオミ

登録費 ￥3,000

出席予定 伊藤、数澤、メ、幸正、澁谷、山内、メ

### ☆西日本区大会

日 時 6月9日(土)~10日(日)

場 所 滋賀県立文化産業交流会館

長浜ロイヤルホテル

登録費 17,000円

出席予定 伊藤、数澤、メ、幸正、澁谷、山内、メ、山本

☆春の根の上まつりが、4月30日(月・祝)に名古屋YMCA 根の上・高原キャンプ場で行われ、幸正 澁谷 伊藤の各メンが出席しました。

## Happy Birthday

幸正 まり子 さん 5月19日

山谷 明代 さん 5月20日

## ~~~~~ YMCAのお知らせ ~~~~~

### ☆早天祈祷会

日 時 2012年 6月1日(金) 6:00~7:00

場 所 金沢YMCA集会室

### ☆たけのこキャンプ2012

4月30日(月・祝)北陸学院大学三小牛キャンパスで、たけのこ掘りを行い、野外で竹のご飯・煮物をいただき、テニスなどをして楽しい一時を過ごしました。参加者はYMCAの小学生4名、大人3名と、金沢犀川クラブ5名、金沢クラブ2名(西尾一朗、数澤輝夫)の計14名でした。

## 6月の担当

ブリテン執筆: 幸正 一誠 君

山本 典子 さん

卓 話 担 当: 幸正 一誠 君

原稿は5月25日までに山内までお願いします。

## ~~~~~ メ ネット 報 ~~~~~

### 《4月例会の報告》

4月はフランス料理で昼食会をしました。

先ずアミューズ3品(ルタバガのスープ、自家製カモの生ハムのタルティース、黒オリーブのクッキー)が



出て、前菜はサヨリのマリネ(新玉ねぎのクリームとフルーツトマト、バニ

ラのドレッシングソース)を味わい、メイン料理は真鯛のボワレ(エビの泡ソース)か、牛ヒレ肉の網焼きロースト(赤ワインソース)、骨付き仔牛のローストの3品の中の1品を選択。そしてデザートはイチゴのラベンダー風味と食後のコーヒーとプチフル(綿菓子、コ



コナツ焼菓子、ローズのメレンゲ)と、初めて味わうものが多く、楽しいひとときでした。参加者は写真の8名。(山内ミハル 記)